

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

- 平成22年度上半期の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について開示いたします。
- 米国サブプライムローン関連および証券化商品等の投資概要は以下のとおりです。

(サブプライムローン関連)

- ・ 平成22年度上半期の期中・期末において、サブプライムローン関連商品への直接投資はございません。よって、これにかかわる実現損益もございません。

(証券化商品)

- ・ 証券化商品は、住宅金融支援機構債を中心とする国内RMBSや、米国エージェンシーMBSが大半を占めております。

①特別目的事業体（SPEs）一般

取引・残高はございません

②債務担保証券（CDO）

取引・残高はございません

③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

取引・残高はございません

④商業用不動産担保証券（CMB S）

	時価		含み損益	実現損益
		参考：平成22年6月末		
国内CMBS	653	678	▲ 24	—

- 裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。
裏付資産：日本国内の商業用不動産
格付：AAA格 38% AA格 29% A格 15% BBB格 13% BB格以下 4%

⑤レバレッジドファイナンス

取引・残高はございません

⑥その他の証券化商品等

	時価			含み損益	実現損益
合計		42,242		1,735	16
ABS		41,770		1,713	16
	国内RMBS	20,032		969	—
	米国RMBS	21,046		742	16
クレジットリンクノート		471		21	—

- サブプライムローン関連のエクスポージャーはございません。
- ABSは、住宅貸付を裏付資産としたRMBSが大半を占めております。
国内住宅貸付を裏付資産とした国内RMBSは、住宅金融支援機構債および国内銀行等が発行するRMBSです。
また、米国住宅貸付を裏付資産とする米国RMBSは、全てファニーメイ、フレディマック、ジニーメイのエージェンシーMB Sです。
- 商品毎の裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。
ABS 裏付資産：国内住宅貸付 48% 米国住宅貸付 50% 金銭債権（国内リース債権等）2%
格付：AAA格 100% AA格 0%
(エージェンシーMB Sと最上級の短期格付をAAA格に集計)
クレジットリンクノート 裏付資産：国内企業を参照するクレジットデフォルトスワップ
格付：AA格 23% A格 66% BBB格 11%

①～⑥総合計

	時価			含み損益	実現損益
総合計		42,895		1,710	16

(その他)

- 投資信託・ヘッジファンド等の一部にサブプライム関連の証券化商品への投資があり、ファンドへの組入比率から算出したエクスポージャーは約 4 億円、子会社等を含めた間接投資合計では約 6 億円となります。
- ファニーメイ、フレディマック等に対しては、エージェンシーMB Sの他、エージェンシー債への投資を行っており、時価 69 億円、含み損益 8 億円となっております。

以上